

留学だより No.3

こんにちは。カナダのオンタリオ州に留学している森田です。こちらではすっかり雪景色が日常となりましたが、私はだいぶ寒さに慣れてきました。人はどこでも生きていけるのだと感じます。東京の猛暑への耐性がなくならないか、それだけ心配です。

今回は学校生活について書こうと思います。

私は St. Charles College (SCC) という学校に通っています。SCC は Sudbury Catholic District School Board という school board(教育委員会のようなもの)に所属しており、ご覧の通り Catholic です。北米では珍しく制服もあるので最初は私立だと思っていたのですが公立だそうです。Catholic とは言うものの、みんながみんなキリスト教徒であるわけでは全くありません。でも、キリスト教を感じる場面も多々あります。学校の名前もその一つ。St. Charles は 16 世紀の貧しい人々に奉仕したことで有名な Cardinal (カトリック教会の聖職者のうち高い位) です。彼の位 Cardinal (緋色、鳥の名前でもある) にちなんで学校のシンボルは右の鳥です。Grade 7~12 の 1500 人ほどの生徒がいます。(Grade 8 までが Elementary, Grade 9~12 が Secondary と、分けられています。)



7 時 30 分頃 黄色いスクールバスに乗って登校

8 時 25 分 国歌を聞いてお祈りをします。

手をおでこ、胸、右、左とやるものです。Father, Son, Holy Spt を表していると知ったのは割と最近です。国家は英語 ver.とフランス語 ver.とミックス ver.があります。イギリス系カナダ人とフランス系カナダ人の長い歴史的な因縁への配慮といったところでしょうか。

8 時 33 分~9 時 48 分 1 限 Religion

宗教、ずばりキリスト教の授業です。今まで聖書の基礎的な内容について学んできました。予備知識が全くない状態からのスタートだったので最初は戸惑いましたが、とても興味深い授業です。世界一の信者を有するキリスト教について学ぶことは、歴史や今の世界情勢への理解を深めてくれるなど感じています。これからもこの授業を通じてたくさんの新しい知識を吸収し、教養を身につけたいです。

9 時 48 分~11 時 3 分 2 限 Visual Art

美術です。今までにスケッチ、Indigenous Art (先住民に習った絵画)、段ボールなどを利用した sculpture などを制作しました。日本と比べて授業数が多いので、一つ一つ妥協することなく満足のいく作品を作ることができて達成感があります。

11 時 3 分~11 時 43 分 お昼休憩

カフェテリアなどでお昼ご飯を食べます。ポテトやピザ、クッキーなどのスナックを買うこともできますが私は家から昼食を持参しています。気づいた方もいると思いますが、お昼ご飯の時間が早いです。でも、カナダの夕食は 5 時~6 時頃と早いので問題ありません。ただ私は郊外の水泳クラブに所属しており練習がある日は帰りが 7 時ごろになるので結構お腹が空きます。時間が早いこともあるのかお昼はサンドイッチやクッキー、グラノラバー、スナック菓子、果物など手軽に済ませる人が多い印象です。ご飯をさくっと済ませた後は友達と校内を歩き回りながらおしゃべりします。

11 時 48 分~午後 1 時 3 分 3 限 Canadian History

一番好きな、歴史です。第一次世界大戦から第二次世界大戦までを中心に学びます。というのもカナダは 17 世紀初頭にフランス人やイギリス人が入植してから発展したためそれ以前には特に特筆するべきこともないのです。カナダは世界大戦を通してイギリスから独立し、国際社会での地位を確立してきたためカナダ軍が果たした役割について戦法と合わせて学ぶことも多いです。また多民族国家であるため、その時々で差別の対象となる人々がいたのも事実です。今のカナダ人は国の多様性に誇りを持っている方が多い（フランス色が強いケベックなどの地域もありますが）ので、過去にあった差別や先住民への弾圧などを学び同じ過ちを繰り返さないように、というスタンスも強いです。

午後 1 時 3 分~午後 2 時 18 分 4 限 Science

セメスター（学期）の前半は生物を学び、今は化学をやっています。生物は日本語でも知らないような専門用語ばかりでしたが、興味のある生物、人体の仕組みについて体系的に学ぶことができてとても楽しかったです。AP という発展クラスであることもあり課題が結構多いですが、先生の例え話なども面白く、頑張り甲斐がある授業です。化学は今のところ小石川ですでに習った範囲なので比較的簡単ですが、学び方が少し違うのとやはり英語で学ぶと新たな発見もあります。

放課後

多くの人はスクールバスに乗って帰りますが、私は月水金にパブリックバスで郊外の水泳クラブに直接むかいます。火曜日はミュージカルの練習に参加してから、木曜日は校内の水泳クラブで泳いでから 40 分くらい歩いて帰ります。

こんな感じで平日はまあまあ忙しいです。セメスター（カナダは 2 学期制）を通して毎日同じ 4 科目を学びます。また、学期末の Exam に加えて各教科 Quiz（小テスト）や Test（ユニットテスト、まあまあ大きめ）があり、定期的に課題も出されるのでなんだかんだ

毎週末勉強しています。どこの国でも学生は忙しいようです。加えて、ホッケーなどのスポーツをしていて遠征で学校を休む人もいます。生徒はその度に先生に話して、事前にプリントをもらったりしています。日本では先生とプライベートについて話すことはあまりないと思いますが、こちらでは生徒は先生に今週はこんな予定がある、と積極的にコミュニケーションをとりアピールするので先生は生徒の予定を把握していることも多く、考慮してくれます。日本では言い訳、自己管理の範疇ととられるかもしれません。逆に先生も自分の気持ちや事情を生徒に伝えます。互いにプライベートを大切にし、また個人の事情を受け止めるというスタンスが、ライフバランスのとりやすい社会を形作っているのかなと感じます。（その分、不便なこともあります）

ここまで、学校生活について写真ゼロでお伝えしてきました。ビジュアルに乏しく申し訳ありません。ところで去る 11 月の最終金曜日はブラックフライデーでした。私は友達とモールに行ったものの、特に何を買うでもなくただただカロリーを摂取してきました。カナダに来て初の外食はマクドナルドとなりました。というのも、ありがたいことにホストファミリーが毎日おいしいご飯を作ってくれるので（特にホストマザーのご両親は餃子や肉まんを生地から手作りしてくれます！）カナダに来てから今まで一度も外食したことがありませんでした。せっかくならカナダらしいものを試してみようと思いプーティンというポテトに 그레이ビーソースとチーズをかけたカナディアンな料理をオーダーしました。これがなんとびっくり 870 キロカロリー！！気になるお味は、うーん。普通のポテトが一番です。More Calories, More Tasty の鉄則は通用しなかったわけです。歴史、文化の浅さと関係しているのか、いわゆるアメリカン、カナディアンな料理は出汁やスパイスを使う料理と比べて味という味がしないように感じます。でも一緒に頼んだビッグマックのバンズはカナダの方が甘みと表面の香ばしさがあって私好みでした。ビッグマックといえばビッグマック指数。カナダのビッグマックは 7.19 ドル、日本円で 803 円でした。高い！（日本では 480 円だそうです）今、為替を調べて円安が進んでいると知りました。余計に買い物がしにくいですね。



11 月はホストマザーのご両親が引っ越してきたこと以外特に大きな変化はなく日常を繰り返す日々でしたが妥協することなく新たな挑戦もすることができました。12 月は環境の変化やクリスマスなど忙しく充実した月となりそうです。日本も寒さが本格的になる頃だと思います。みなさん体調に気をつけてあたたかい年末年始をお過ごしください。

